

百尺竿頭

ひゃく しゃく がん とう



札幌市青少年山の家だより

第34号

平成25年(2013年)5月1日発行

札幌市青少年山の家

野外教育主幹 金田 隆史

「身近な植物について」

野草の観察に行こうと思うと、自然のいっぱいある郊外へと思うのですが、その前に

身近にある植物を少し詳しく調べてみませんか

①アキタブキの生態

春はかけ足で過ぎていく。雪が融けた後、真っ先に出てくるフキの芽生えを道路のふちや土がむき出しになっている沢沿いでよく見かけます。フキの花はフキノトウと呼ばれ、雄花と雌花に分かれています。性別は遺伝的に決められています。雄花はやや黄色みをおびた花冠が大きく開いており、雌花は雄花より少し小さく花冠から細い糸のような柱頭が出ているだけで華やかさはありません。



←雄花



雌花→

フキは虫媒花で雄花の花粉を雌花につけなくては実を結ぶことができません。

雄花は見かけの上では両性花で、雄しべと雌しべを持っているのですが、この雌しべは実を結ぶことはなく、柱頭が伸びることによって花粉を外に追い出す働きをしています。

一方、雌花には雄しべはないのですが、よく見てみると、頭花の真ん中に雌花に取り囲まれて1～3個の両性花があります。両性花にはたくさんの蜜があり、それを吸うために虫たちは雌花に来て雄花の花粉をつけていきます。もし雌花に両性花がなければ虫は雌花には寄らず受粉ができないことになってしまいます。

フキノトウはその後、雄花は実をつけることもなく枯れてしまい、白い冠毛をもつ実をつけるのは雌花だけです。この冠毛の付け根には明るい褐色の実がついています。これが風に飛ばされて新しい群落を形成していきます。

しかし、中には全く実が膨らんでない株ばかりの場所があります。このフキは地下に長くはった茎を持っており地下形で繁殖します。

フキは一年目は葉を大きく広げてたくさんの栄養を吸収し、2年目にフキノトウとなって沢山の種を飛ばし仲間を増やしていると聞いたことがあります。

また、私達が食べているフキは、茎ではなく葉柄と呼ばれている部分なのだそうです。

②シロツメクサの葉紋

シロツメクサの花は開花前のつぼみはすべて上向きに
ついていますが、咲き終わった花から順に下向きになり
ます。シロツメグサの葉にはV字形の葉紋があります。

葉の白い線は遺伝的に決まるとされ、同じ模様をもつ
個体同士はクローンといわれます。この葉紋の形で同一
クローンを区別する事ができます。葉紋の形が違うもの
を交配させると両方の葉紋を持ち合わせた種類に変わ
ります。紋のない葉は紋のある葉に対して劣性（繁殖力が
弱い）であることが分かっています。



【滝野の旬の自然情報をホームページにてご覧いただけるようになりました。情報は随時更新中です。】

実施事業のご報告

■平成 25 年度ボランティア総会 4 月 21 日（日）

平成 24 年度の振り返りと、平成 25 年度の活動内容についての報告及び
ミーティングを行いました。各主催事業のことや自主研修について、様々
な意見が飛び交い、大変有意義な時間となりました。総会後の昼食会では、
和気あいあいとした雰囲気の中で食事を楽しむことができました。



利用者アンケートより

▲自動販売機がかなり売り切れ状態だったのが残念でした。

⇒青少年山の家には合計 3 台の自動販売機を設置しております。出来るだけ売切れが発生しない
ように努めておりますが、利用される方々の年齢層や人数、季節によって商品を補充したその
日に売切れが発生する場合がございます。時間によっては即日対応ができないことがありますが
、商品売切れの際は職員にご報告いただけますようご協力をお願いいたします。

自然の

豆知識

「雨を楽しむ」

野外での活動は晴れの日ばかりじゃなく、雨の日もあります。「雨が降ったら残念…」そんなこ
とはありません。雨でも暖かい服装とレインウェア、長靴があればぜひ野外に出ましょう。

子どもの頃、水たまりにワクワクした記憶がありませんか？

装備をしていれば雨の活動も十分に楽しめますし、木の葉や花の色が
より鮮やかに見えることに気づくなど、多くの発見が待っています。

“雨降りはい天気” 雨は私たちにも森に生きる動植物にとっても、
「恵みの雨」なんですね。



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話（011）591-0303 FAX（011）591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>

ひゃくしゃくがんとう
百尺竿頭

